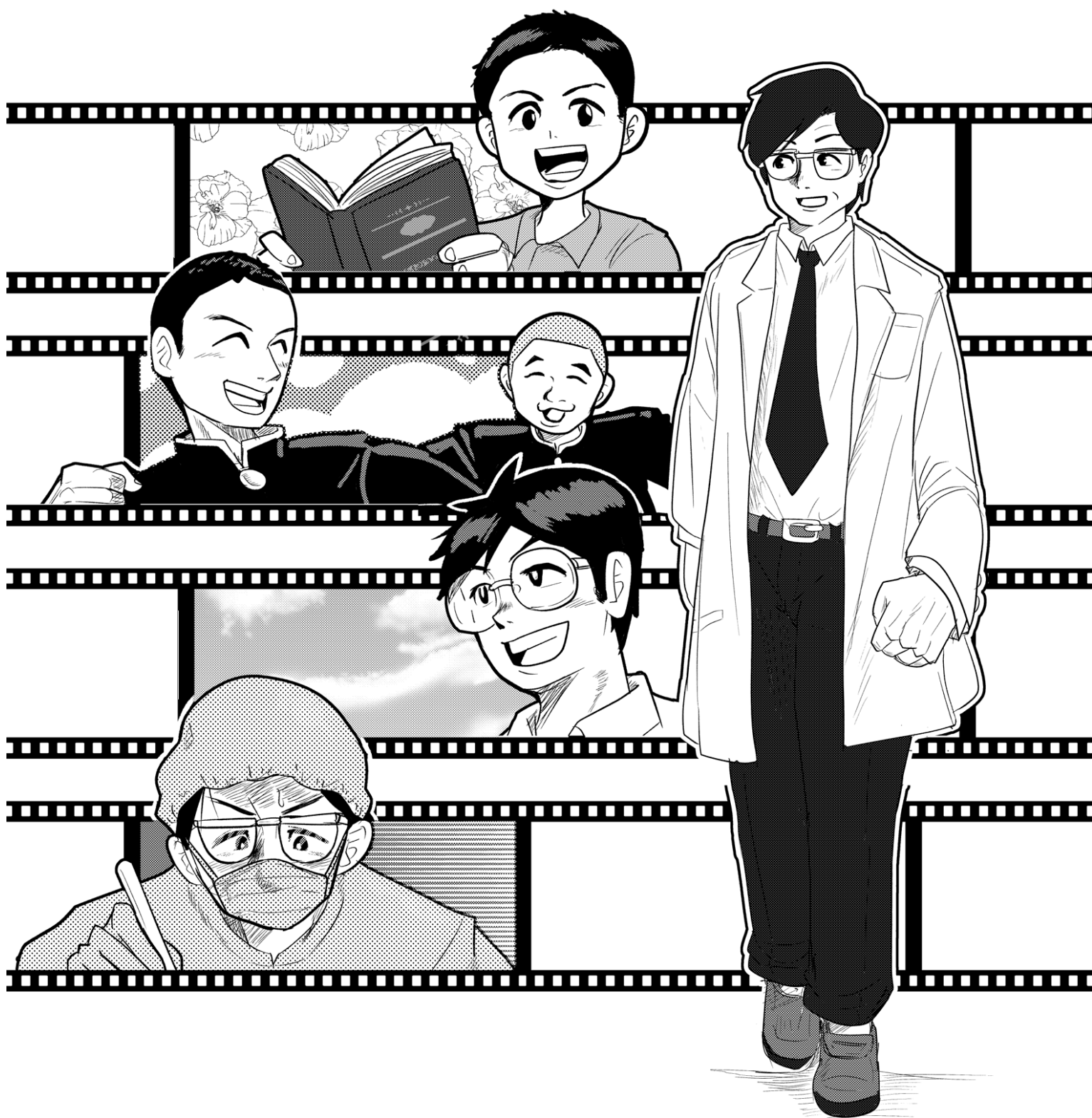


第八章

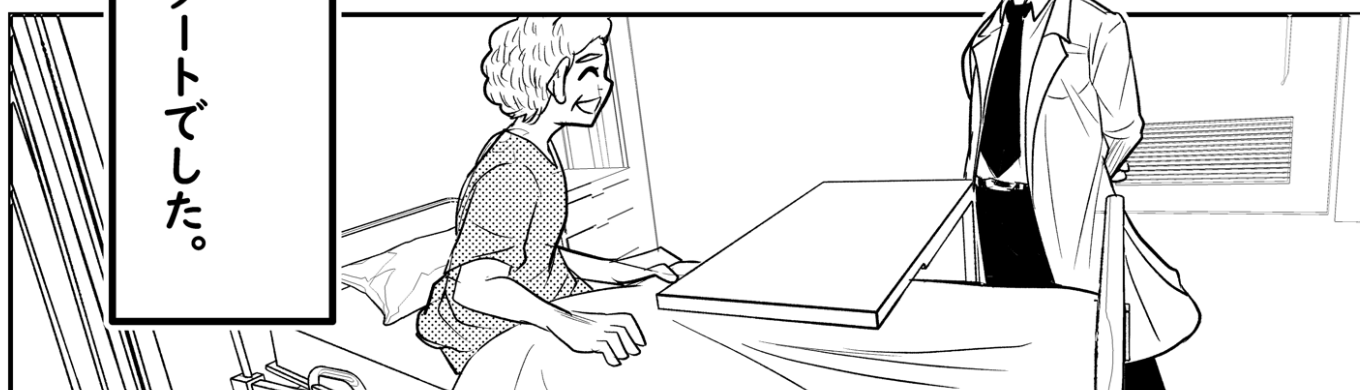
今までに負けない挑戦を





熊本県熊本市清水町山室
(現・北区山室)に
熊本機能病院が開院しました！

病床数84床、
職員数101名でのスタートでした。



祝 熊本機能病院開設

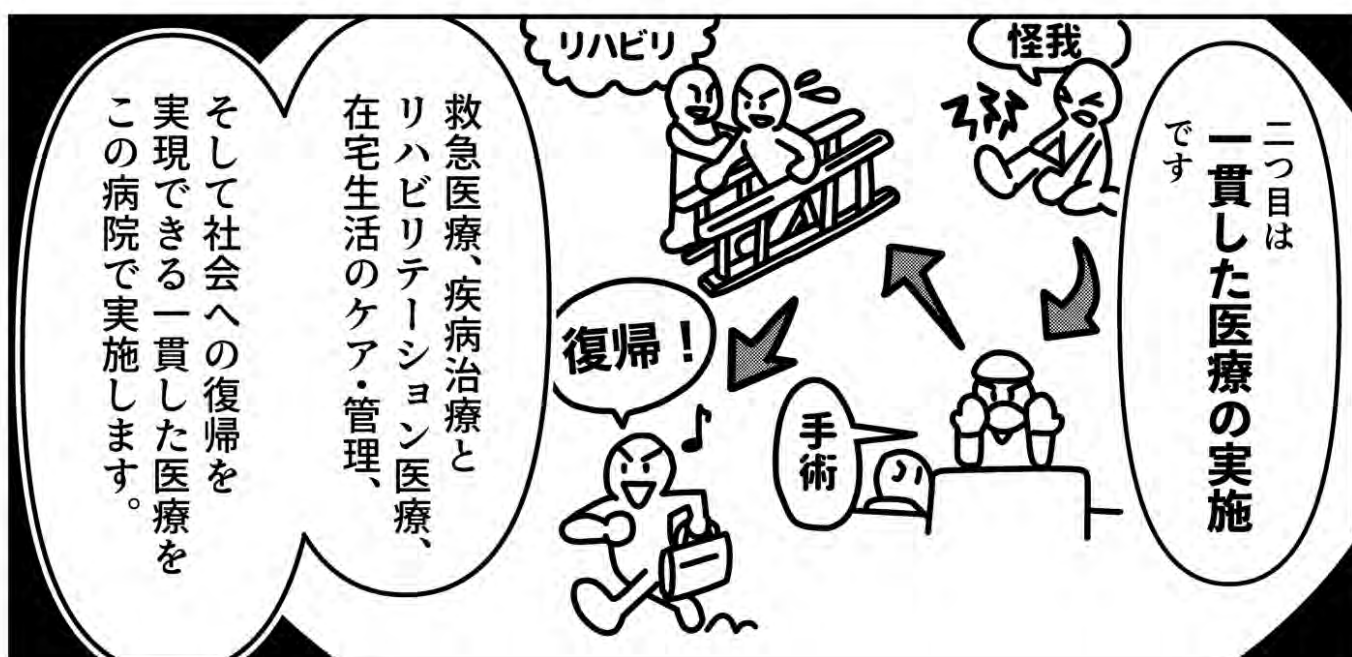
今日からよろしく
お願いします。

さて、ここまで
たどり着けたのも
皆さんの協力の
おかげです。

でも、
熊本機能病院はまだ誕生
したばかり

皆様に末永く愛される病院
にしていくためにも

ここで「完成」とはせず
「成長」させて
いただきたいと
考えています。





その後も
「一度やってみよう!」と
決意したら即行動する弘之の
挑戦力は凄まじく…

皆と力を合わせて
理想の病院を
作っていくぞ!

1986年
開設から5年後—

新館(現・東館)と
「リハビリテー
ションセンター」
を開設します。



全ては患者さんの為、
リハスタッフと
ともに考えた
「弘之が理想とする
リハセンター」

天井が高く、死角のない
約1200㎡の
大きなフロアが
完成しました!



1988年
開設から7年後—

日本はこれから
高齢化に向かうだろう。

高齢者の治療後にリハビリ
を行う「病院」と「在宅」の
中間となる施設が
重要となってくるはずだ！



そう考えた弘之は
国の施策が動き出すと
ともに建築を開始し、



熊本県第一号の
老人保健施設「清雅苑」
をオープンします。

熊本体力研究所



また、同時に「予防」にも着目し、
フィットネスや検診、研究ができる
「熊本体力研究所」
(現・熊本健康・体力づくりセンター)
を1989年に開設。

一貫した医療を提供する体制
を整え、開設時に掲げた3つの方針
をわずか8年で達成させます。

そして、
1997年には――

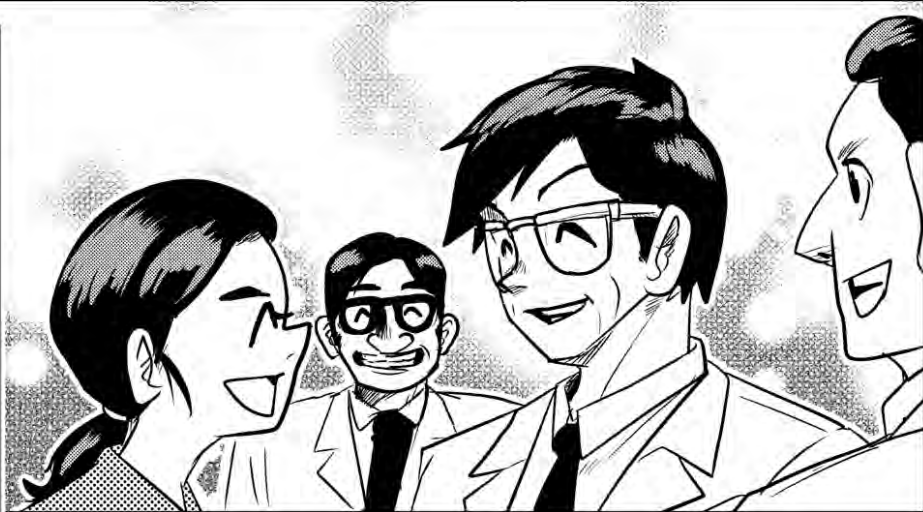
熊本市北部地域で、
循環器を担う医療機関
が必要になる!!

という嘆願書の声を
熊本大学循環器内科の
泰江弘文教授に伝え――



「循環器センター」
を新たに設置します。

こうして熊本機能病院は
わずか20年で地域の
アイコンとなる大きな
病院として成長を
遂げてきました。



熊本機能病院の理事長として
忙しい毎日を送る中でも、弘之は
決して患者さんの診療を止める
ことはありませんでした。



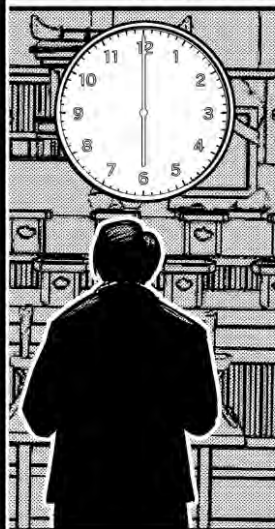
“医師”として直接患者さんと接することを
大切にし、外来では一日100人を越える
診療を行っていました。
患者さんの中には弘之と会うだけで体調が良くなる方もいたとか……

この生活は弘之が
75歳になるまで続きました。



また、患者さん
だけでなく職員も
大切にしていた
弘之は

多忙なスケジュールの中でも
職員の冠婚葬祭には
必ず出席していたそうです。





いつも病院、患者さん、職員と「誰かのため」の視点を持ち、体現し続ける弘之の姿に、いつしか院内にもそのマインドが広がっていきました。



よし！
思い切って挑戦
するか！！



医療と福祉
の充実に
行政を動かすことも
大切だ……！

1994年—



そして、熊本市市長選挙に出馬。
無経験、無所属ながらも
大接戦まで持ち込み、
結果69153もの票を集めました。



「地域の方の声」にも
耳を傾け……!

こんにちはー!
どうかされましたか?

弘之が手掛けたのは
病院施設だけでは
ありません……!



施設の増えて、
私は嬉しか
ばってん……

悲しかねえ

うちん孫
が「病院って
行っても
楽しくなか
もん!」
て言いよる
ですたい。

あら! 米満先生!
病院、すごい勢いで
大きくなつて……

ありがとう
ございます。
皆さんの応援のおかげ
です!

ありがとうございます！
ございます！
またいいアイデア
を思いつきました！



私が目指していたのは
「地域の生活の一部と
なりみんなに
愛される病院」

そしてそれは、
施設を拡大する
ことで実現できると
思い込んでいた…

でも違うんだ！
施設が増えても…

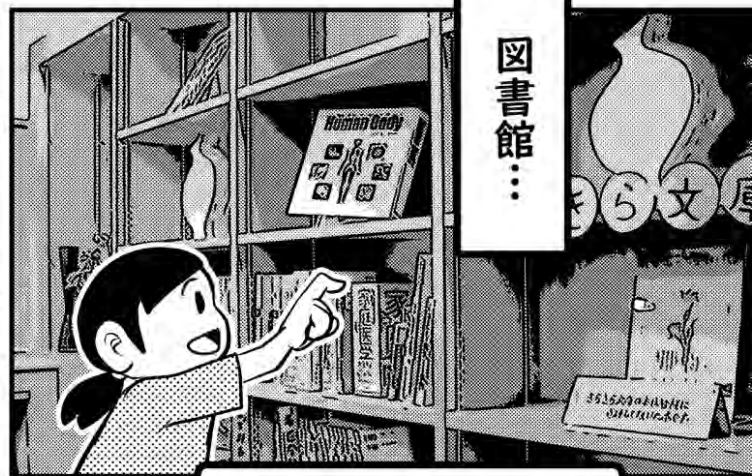
病気じゃない
限り行く必要
がないと感じて
しまう…

それは私が
目指す理想の
病院ではない！

健康な人も
治療が必要な人も
大人も子どもも

みんなが普段
から集まりやすい
病院から一歩
離れた「スポット」
が必要なんだ！！





そして、
2012年6月—

ハッ

立ち止まってもはいけない！
そんな気持ちで
ここまでやってこれた…

フウ…

そろそろ次の
世代に
託すか…!!

ヒューンオオオオ



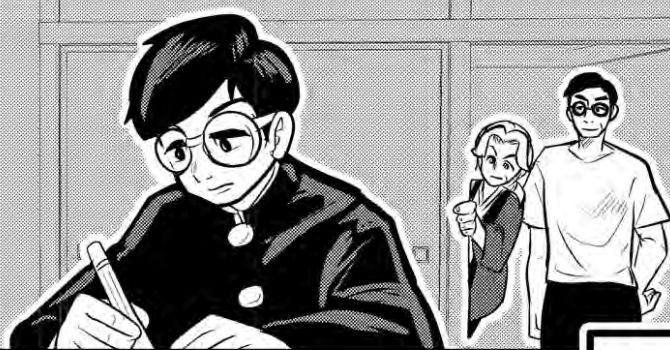
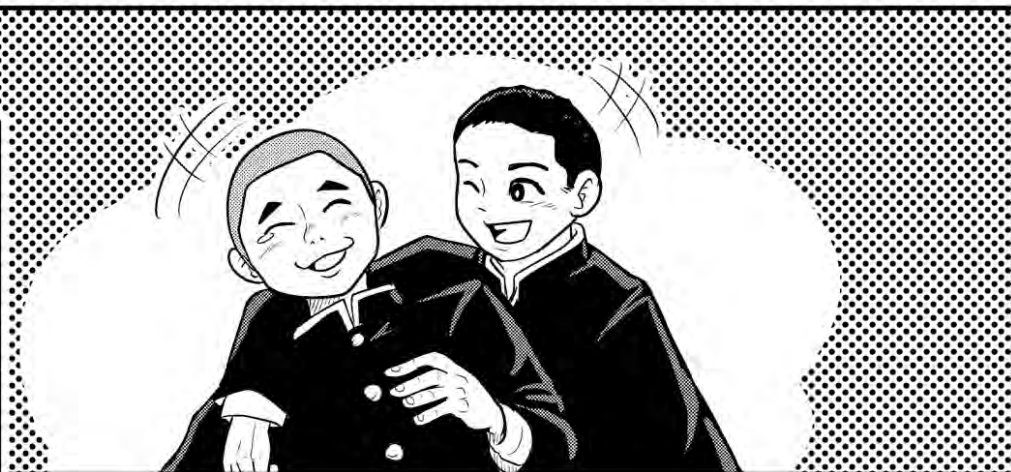
75歳になった弘之は3年間
務めた熊本機能病院理事長を
退任します。

その後、息子である米満弘一郎氏
が理事長を引き継ぎ、
今日の熊本機能病院となるのです。

みんな！
ありがとう！！



弘之の人生は決して順風満帆
とは言えず、苦勞、努力の
多いものでしたが、



すべて乗り越えることが
できたのは、家族や友人の
応援、先生や医療スタッフ
の方々のサポートそして
患者さんの笑顔…

たくさんの人の支えが原動力
となっていたおかげと言って
間違いありません。



創業から40年を超えてもなお
成長し続ける熊本機能病院

これからも多くの人に支えられながら
今までにない挑戦を続けていきます。

おしまい



米満弘之 主な功績

役職歴

日本医師会介護保険委員会委員
熊本県医師会理事、熊本市医師会理事
日本リハビリテーション病院・施設協会常務理事、副会長、顧問
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会会長
全国地域リハビリテーション支援センター長連絡協議会会長
全国介護支援専門員連絡協議会副会長
全国老人保健施設協会総務・企画委員会企画部会長
熊本県医療・保健・福祉連携学会企画運営実行委員長
昭和大学医学部形成外科学客員教授
熊本市地方社会福祉審議会委員長

全国学会大会長

昭和63年12月第15回日本マイクロサージャリー学会
平成9年10月第1回全国リハビリテーション医療研究大会
平成10年11月第8回日本車椅子スポーツ研究集会大会
平成14年8月日本福祉のまちづくり学会第5回全国大会
平成18年10月第22回日本義肢装具学会学術大会
平成19年2月回復期リハビリテーション病棟協会第9回研究大会in熊本

表彰

平成15年8月献血運動推進協力厚生大臣表彰
平成15年9月救急医療功労者厚生大臣表彰
平成17年8月介護老人保健施設関係事業の発展向上厚生労働大臣表彰
平成19年5月中国広西名誉公民表彰
平成19年7月日本臨床整形外科学会地域医療功労賞表彰
平成22年9月更生保護法人全国更生保護法人連盟表彰
平成23年1月熊本県更生保護事業功労者法務大臣感謝状表彰
平成26年6月熊本日日新聞社熊日賞表彰
平成30年5月旭日双光章受章



創立40周年を迎え、記念の一環としてこの「熊本機能病院物語」を制作いたしました。
40年の歴史を振り返り、そのご苦勞に感謝すると共に今後の発展につなげていく所存です。
当法人の足跡を皆様にお伝えすることができましたこと、大変幸甚に存じます。
また、編集にあたり諸先生方の指導や助言をいただき心よりお礼申し上げます。

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎



監修：米満 弘一郎
漫画：ノゾエタカフミ



作者

ノゾエ タカフミ
NOZOETAKAFUMI

熊本県を中心に活動する
漫画家・イラストレーター。

魅力ある歴史を伝える「漫画」や
親しみやすい「キャラクター」
など：幅広い分野で制作活動を行
っております。

子どもが2024年1月に
生まれ、パパとしても現在
活躍中。



【ノゾエ タカフミwebサイト】

<https://www.nozotown.com/>